

編集後記

前号に引き続き、「推進技術の海外進出」について、その現状と課題に触れる。

現在、ベトナムのいくつかの都市では、本格的な排水基盤整備に向け、JICAの無償援助で事業可能性検証調査（FS：フィージブル・スタディー）が進められている。この調査の結果、事業者側として“GOサイン”が出せれば、事業実施へと進み、基本計画（MP：マスター・プラン）の策定となる。

MPはFSの延長線上にある。したがって、FSの段階で、幹線管路の敷設方式として、“路上交通の朝夕ラッシュ時の混雑状況から開削工事は無理、何としても非開削で行こう”という強い意思が事業者側になれば、MPで推進工法を前提とした管路計画には決してならない。すでに勝負有だ。事業化になり、工法検討の段階になって、推進工法の優位性を如何に提案しても、聞く耳持たず、論外だ。ならば、FSの段階で、ベトナム事業部局の幹部・デシジョンメーカに対し、開削と非開削・推進工法での実態真相、対比を知らしめ、推進工法の優位性を如何に納得、自得させるか、これが肝要だ。これを肌で実感したのは、今年2月、ベトナムから招聘した政府関係者ら4人を対象に、2週間の推進

工法技術に関する研修での彼らとの交流の場だった。

彼らが抱く日本の推進技術に対する率直な実感は、「すばらしい、高度技術だ。それは、日本のように経済的に豊かで、あらゆる分野で高度な技術力を達成しているからできる工法だ。もちろん、ベトナムでも、将来的には必要な工法技術だが、今の段階では経済的にも技術的にも無理な話だ。何しろ、日本の推進工法は高すぎる。日本人の一日分の給料は、ベトナム人の一週間分だ。かつて日本の企業がホーチミン市内で大きな管の推進工事をやったことは知っているが、高い工事だったと聞いている。これでは無理、ダメだ。」

推進技術を学ぼうと日本に来た彼らさえ、このような先入感を持っていた。

これがベトナム主要都市での常識なら、如何に日本からのODAだといえ、FS段階から推進工法を念頭に置く可能性は皆無だ。この頑なな先入意識を揉み解し、推進工法の優位性をインプットするには、担当する日本側コンサルタントの強い信念が必要なのだが、残念なことに、それを裏付けられるほどの推進技術情報を、現に、彼らは持ち合わせていない。

さて、当面の関門はどちらだ！

ベトナム幹部への教育が先か、ODA担当コンサルへの啓蒙が先か。その答えは単純明快、いずれもだ。同時並行対応しかないし、そのほうが効果的、効率的だ。そうしなければ、日本側が大事に育てた海外推進市場に、早晩、韓国、台湾、中国企業がコスト勝負を前面に進出して来ることは明白だ。そして、コスト面を含め、日本の推進企業が市場で絶対優位の地位を確保するためには、早い時期から、他の競合国が進出する余力を持たない時期から、日本の推進関連企業が丸となってベトナム企業とその技術者を訓練、育成して、徐々に、日本側のイニシアティブで“推進技術のベトナム化”を進めることが肝要だ。単に、一つのプロジェクトを立ち上げ、中に多くの推進工事を生み出し、それらを手際よく仕上げ、適度の収益を得て、撤収する、そんな単発的な技術支援の繰り返しでは、日本が意図する推進技術のベトナム化は生まれない。その先の海外進出も見えない。

このプロセスに関し、反省も含めた良き反面教材は、先行した台湾であり、ベトナムに続くのがインドネシア、インドなどだ。言い尽くせない、次回も続ける。

〈編集委員長 石川和秀〉

No-Dig Today

No.81 2012 Oct. 平成24年10月1日発行

編集：「No-Dig Today」編集委員会
編集企画小委員会

発行所：JSTT 一般社団法人日本非開削技術協会
〒135-0047 東京都江東区富岡2-11-18
西村ビル3F

TEL.03(5639)9970 FAX.03(5639)9975

発行人：松井大悟

印刷所：株式会社 LSプランニング

● ご案内 ●

◇本誌のご購読について

ご購読をご希望の方は、巻末の振込み用紙で当協会まで直接お申し込み下さい。

○購読料（税込み）

1冊 1,575円（本体1,500円）〒400円

1ヵ年（4冊）6,300円（本体6,000円）〒1,600円

◇発行

年4冊：1・4・7・10月1日発行

◇広告のお申し込みについて

本誌に広告の掲載をご希望の方は、編集室までご連絡下さい。媒体資料等お送り致します。

◇投稿

・技術論文

非開削に関連する技術、製品についての論文を募集しています。

投稿論文は、委員会で選考の上掲載論文には薄謝をお送り致します。

◇情報のご提供について

・No-Dig NEWS ダイジェスト

非開削技術に関連する新技術、新製品、図書の紹介、関連団体の動向や講演会、セミナー・展示会の案内など、情報をお寄せ下さい。

©JSTT 2012 Printed in Japan / ISSN 1348-9194

本誌の複写・複製・転載は必ず許可を得てください。